

令和5年度

当初予算の概要



暮らし満足No.1のまち

中津市

【目次】

I.	令和5年度一般会計当初予算の概要	
1.	予算編成の基本方針	1
2.	予算総額	1
3.	主な歳入	2
4.	財政の健全性	2
5.	令和5年度一般会計当初予算の状況	3
6.	予算規模等の推移	6
II.	令和5年度指針別主要事業	
1.	安心づくり	10
2.	元気づくり	13
3.	未来づくり	16
4.	物価高騰対策	18
III.	主要事業の詳細	
1.	災害に強い安全なまちづくり	20
2.	健康寿命延伸・予防医療の取り組み	23
3.	「安心」で繋ぐ地域づくり	23
4.	誰もが生き生きと暮らせるまちづくり	25
5.	地域コミュニティの活性化	27
6.	みんなが子育てしたくなるまちづくり	31
7.	農林水産業等における担い手育成と収益性向上	32
8.	山国川上下流域を結ぶ観光振興	34
9.	公民連携・政策連携によるにぎわいづくり	35
10.	「ふれあい」「親しむ」文化・スポーツの振興	36
11.	「不滅の福澤プロジェクト」	38
12.	教育環境の整備と子どもの可能性を拓ける教育	40
13.	地域で活躍する人材の育成	42
14.	「脱炭素社会」「環境共生都市なかつ」の実現	43
15.	自治体DXの推進	44
16.	物価高騰対策	46

I. 令和5年度一般会計当初予算の概要

中津市総務部財政課
令和5年2月16日

1. 予算編成の基本方針

- ①これまで進めてきた暮らし満足向上のため、【安心】・【元気】・【未来】づくりの施策の着実な展開・更なる深化を図るとともに、「令和5年度中津市政推進の基本指針」で示されている方向性を踏まえ、施策の積極的な推進を図る
- ②ポストコロナにおける社会経済活動の再活性化を目指す
- ③DX、GXの施策の推進に取り組む
- ④市民みんなが自ら考え、地域の実情を踏まえた課題解決に向け取り組むことで活力づくりを目指す「共創のまちづくり～地域の力をなかつの未来に～」をテーマとする

2. 予算総額

予算規模は前年度より3億7,845万7千円の増額となり、過去最大規模となった。

ポストコロナにおける社会経済活動の再活性化を目指し、中山間地域の活性化、防災、子育て・若者への支援、教育のICT化、DX・GXの推進など、多様な施策を盛り込んでいる。

普通建設事業については、前年度より1億9,516万7千円の増額であり、本庁舎機械棟整備、耶馬溪公民館整備、中津市総合体育館整備、北部小学校校舎の増築などを計上。

当初予算額 432億5,453万8千円
(前年度比 3億7,845万7千円 +0.9%)

<参考> ②41,556,353 ③41,603,262 ④42,876,081

○人件費 7,427,977千円 (前年度比 △174,856千円 △2.3%)

○公債費 4,710,230千円 (前年度比 △111,103千円 △0.2%)

○扶助費 10,301,724千円 (前年度比 △208,339千円 △2.0%)

(障害者福祉費 2,899,680千円 (前年度比 +90,783千円 +3.2%)
 児童福祉費 4,954,873千円 (前年度比 △121,141千円 △2.4%))

○普通建設事業費 4,823,263千円 (前年度比 195,167千円 +4.2%)

(補助事業費 1,848,475千円 (前年度比 △385,776千円 △17.3%)
 単独事業費 2,793,292千円 (前年度比 +622,839千円 +28.7%)
 国直轄・県営 181,496千円 (前年度比 △41,896千円 △18.8%))

3. 主な歳入

市税は、前年度と比較して3億9,133万2千円の大幅な増額となり、当初予算計上額では過去最大となっている。地方交付税は、合併特例債の償還終了に伴い、基準財政需要額のうち公債費算入額の縮小などにより、前年度と比較し、1億5,000万円の減額、地方交付税の振り替わりとなる臨時財政対策債は5億8,900万円の大幅な減額となっている。

その結果、一般財源総額は257億1,543万5千円となり、前年度と比較し、1億9,016万2千円の減額となったが、ほぼ前年度並みの額を確保している。

財政調整基金繰入額は前年度と比較し、13.4%減の9億5,182万8千円となった。

○市税	11,602,052千円	(前年度比 +391,332千円 +3.5%)
○地方譲与税等	2,902,382千円	(前年度比 +157,506千円 +5.7%)
○地方交付税	11,000,000千円	(前年度比 △150,000千円 △1.3%)
○臨時財政対策債	211,000千円	(前年度比 △589,000千円 △73.6%)
○財政調整基金繰入金	951,828千円	(前年度比 △147,995千円 △13.4%)

4. 財政の健全性

持続可能な財政基盤の確立のため、「中津市行政サービス高度化プラン2022」の取り組みを遂行し、基本目標である令和8年度末に「財政調整用基金残高30億円以上」、「公共施設整備基金残高7億円以上」、「市債残高400億円以下」を堅持する。

(1) 財政調整用基金残高

・財政調整基金残高

③ 36.1億円 ④ 45.4億円 ⑤ 36.1億円

・減債基金残高

③ 10.7億円 ④ 10.7億円 ⑤ 9.2億円

・合計

③ 46.8億円 ④ 56.1億円 ⑤ 45.3億円

※④⑤は当初予算編成時の見込み

(2) 公共施設整備基金残高

③ 4.4億円 ④ 6.8億円 ⑤ 6.8億円

※⑤は補正予算にて積み増し予定

(3) 市債残高

③ 394.3億円 ④ 390.5億円 ⑤ 376.6億円

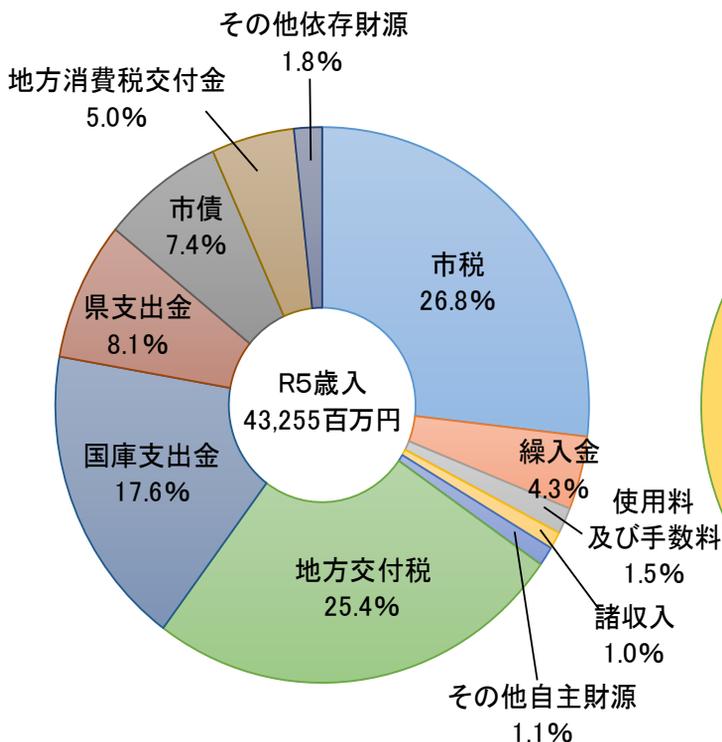
※④⑤は当初予算編成時の見込み

5. 令和5年度一般会計当初予算の状況

(1) 歳入

(単位: 千円、%)

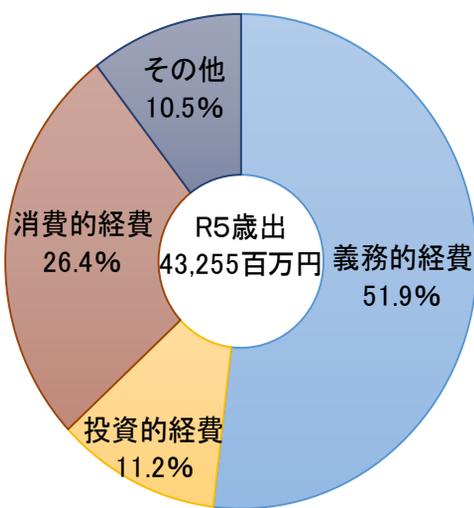
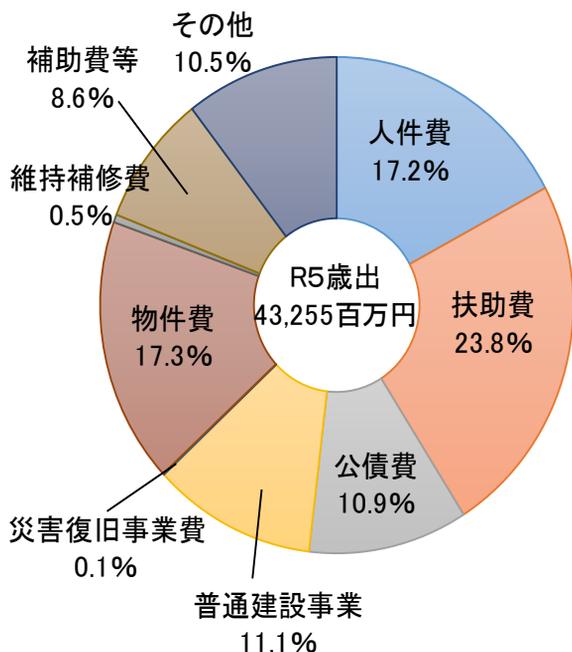
区 分	令和5年度		令和4年度		増減額 (A)-(B)	増減率 (A)/(B)
	予算額(A)	構成比	予算額(B)	構成比		
自主財源	市税	11,602,052	26.8	11,210,720	391,332	3.5
	分担金及び負担金	74,142	0.2	75,932	△ 1,790	△ 2.4
	使用料及び手数料	661,771	1.5	646,023	15,748	2.4
	財産収入	58,507	0.1	70,186	△ 11,679	△ 16.6
	寄附金	353,504	0.8	303,404	50,100	16.5
	繰入金	1,845,368	4.3	1,661,708	183,660	11.1
	うち財政調整基金繰入金	951,828	2.2	1,099,823	△ 147,995	△ 13.4
	繰越金	1	0.0	1	0	0.0
	諸収入	427,762	1.0	427,558	204	0.0
	小 計	15,023,107	34.7	14,395,532	627,575	4.4
依存財源	地方譲与税	381,258	0.9	389,647	△ 8,389	△ 2.2
	利子割交付金	2,503	0.0	6,263	△ 3,760	△ 60.0
	配当割交付金	24,831	0.1	24,652	179	0.7
	株式等譲渡所得割交付金	28,057	0.1	38,429	△ 10,372	△ 27.0
	法人事業税交付金	168,916	0.4	179,426	△ 10,510	△ 5.9
	地方消費税交付金	2,169,152	5.0	1,964,900	204,252	10.4
	ゴルフ場利用税交付金	8,974	0.0	8,486	488	5.8
	自動車税環境性能割交付金	19,118	0.1	26,390	△ 7,272	△ 27.6
	地方特例交付金	87,933	0.2	94,519	△ 6,586	△ 7.0
	地方交付税	11,000,000	25.4	11,150,000	△ 150,000	△ 1.3
	交通安全対策特別交付金	11,640	0.0	12,164	△ 524	△ 4.3
	国庫支出金	7,626,514	17.6	7,664,227	△ 37,713	△ 0.5
	県支出金	3,499,435	8.1	3,513,446	△ 14,011	△ 0.4
	市債	3,203,100	7.4	3,408,000	△ 204,900	△ 6.0
小 計	28,231,431	65.3	28,480,549	△ 249,118	△ 0.9	
合 計	43,254,538	100.0	42,876,081	378,457	0.9	



(2) 歳出
 <性質別>

(千円、%)

区 分	令和5年度		令和4年度		増減額 (A)-(B)	増減率 (A)/(B)
	予算額(A)	構成比	予算額(B)	構成比		
義務的経費	22,439,931	51.9	22,834,229	53.3	△ 394,298	△ 1.7
人件費	7,427,977	17.2	7,602,833	17.7	△ 174,856	△ 2.3
扶助費	10,301,724	23.8	10,510,063	24.5	△ 208,339	△ 2.0
公債費	4,710,230	10.9	4,721,333	11.0	△ 11,103	△ 0.2
通常償還分	4,562,502	10.6	4,721,333	11.0	△ 158,831	△ 3.4
繰上償還分	147,728	0.3	0	0.0	147,728	皆増
投資的経費	4,858,367	11.2	4,628,100	10.8	230,267	5.0
普通建設事業費	4,823,263	11.1	4,628,096	10.8	195,167	4.2
補助事業費	1,848,475	4.3	2,234,251	5.2	△ 385,776	△ 17.3
単独事業費	2,793,292	6.4	2,170,453	5.1	622,839	28.7
国直轄・県営事業	181,496	0.4	223,392	0.5	△ 41,896	△ 18.8
災害復旧事業費	35,104	0.1	4	0.0	35,100	皆増
消費的経費	11,425,809	26.4	10,847,484	25.3	578,325	5.3
物件費	7,493,682	17.3	7,288,444	17.0	205,238	2.8
維持補修費	222,033	0.5	221,664	0.5	369	0.2
補助費等	3,710,094	8.6	3,337,376	7.8	372,718	11.2
その他	4,530,431	10.5	4,566,268	10.6	△ 35,837	△ 0.8
合 計	43,254,538	100.0	42,876,081	100.0	378,457	0.9



扶助費の主な増減

(千円)

事業名	予算額	対前年
障害福祉サービス等給付費	2,045,768	+36,278
障害児通所給付費	473,034	+61,947
児童手当給付金	1,384,620	△44,346
生活保護扶助費	1,566,870	△87,674
子ども医療費	259,027	△32,031

普通建設事業費の主な増減

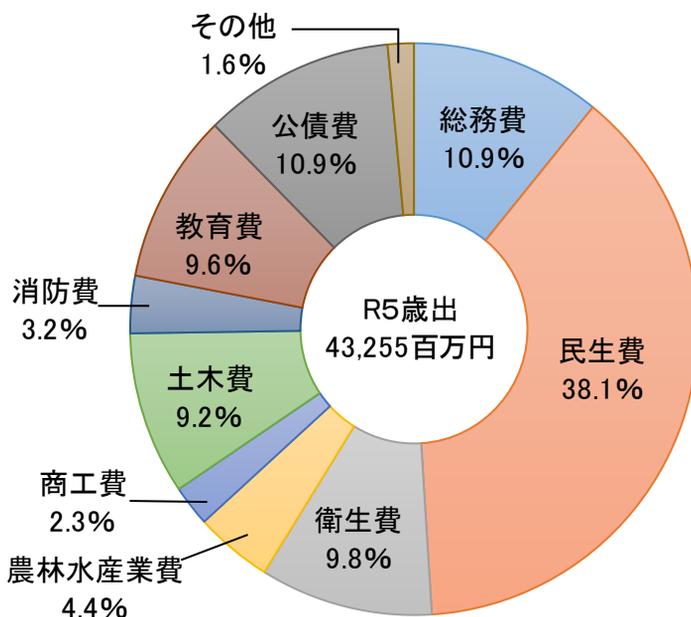
(千円)

事業名	予算額	対前年
本庁舎機械棟整備事業	361,715	+346,715
北部小学校校舎増築事業	242,478	+82,231
耶馬溪公民館整備事業	246,470	+165,970
宮永角木線街路事業	319,000	+216,300
公共施設照明LED化	180,011	+105,217
ごみ処理施設改修工事	28,248	△908,782

(2) 歳出
 <目的別>

(千円、%)

区 分	令和5年度		令和4年度		増減額 (A)-(B)	増減率 (A)/(B)
	予算額(A)	構成比	予算額(B)	構成比		
1. 議会費	270,527	0.6	264,496	0.6	6,031	2.3
2. 総務費	4,697,266	10.9	4,486,977	10.5	210,289	4.7
3. 民生費	16,495,837	38.1	16,610,335	38.7	△ 114,498	△ 0.7
4. 衛生費	4,257,300	9.8	4,981,892	11.6	△ 724,592	△ 14.5
5. 労働費	37,094	0.1	35,686	0.1	1,408	3.9
6. 農林水産業費	1,904,161	4.4	1,750,003	4.1	154,158	8.8
7. 商工費	999,552	2.3	937,497	2.2	62,055	6.6
8. 土木費	3,984,828	9.2	3,664,101	8.5	320,727	8.8
9. 消防費	1,403,449	3.2	1,366,230	3.2	37,219	2.7
10. 教育費	4,158,398	9.6	3,757,409	8.8	400,989	10.7
11. 災害復旧費	35,104	0.1	4	0.0	35,100	皆増
12. 公債費	4,711,020	10.9	4,721,449	11.0	△ 10,429	△ 0.2
13. 諸支出金	2	0.0	2	0.0	0	0.0
14. 予備費	300,000	0.7	300,000	0.7	0	0.0
合 計	43,254,538	100.0	42,876,081	100.0	378,457	0.9



総務費の主な増減 (千円)

事業名	予算額	対前年
ふるさとなかつ応援寄附金関連	375,472	+56,747
本庁舎機械棟整備事業	356,715	+341,715
マイナンバーカード取得促進	33,200	+33,200

土木費の主な増減 (千円)

事業名	予算額	対前年
宮永角木線街路事業	319,000	+216,300
高瀬住宅建替事業	200,100	+183,252
大貞総合運動公園トイレ改修	44,666	+44,666

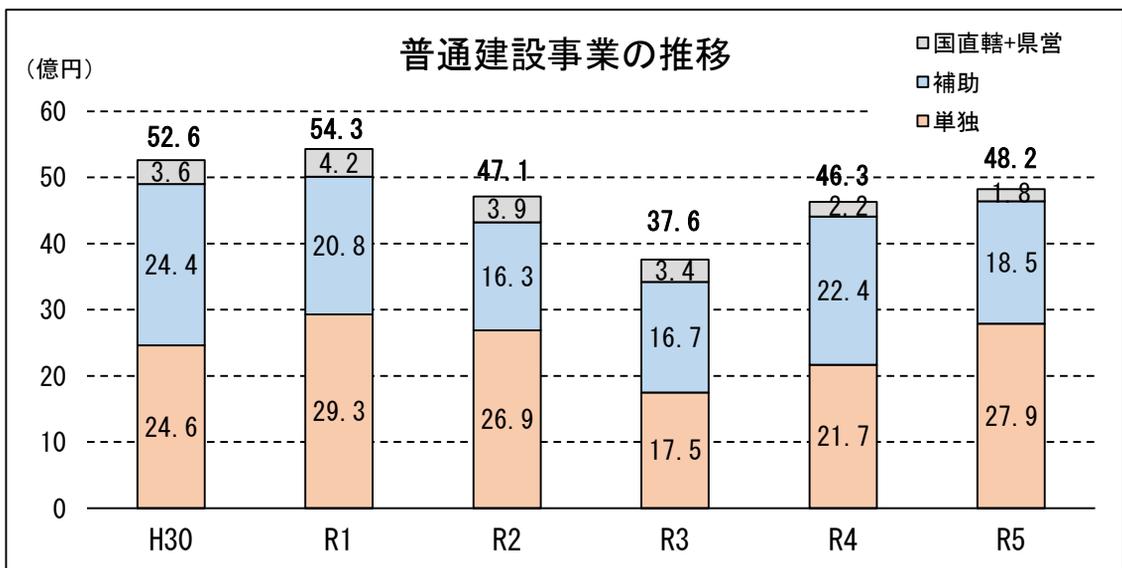
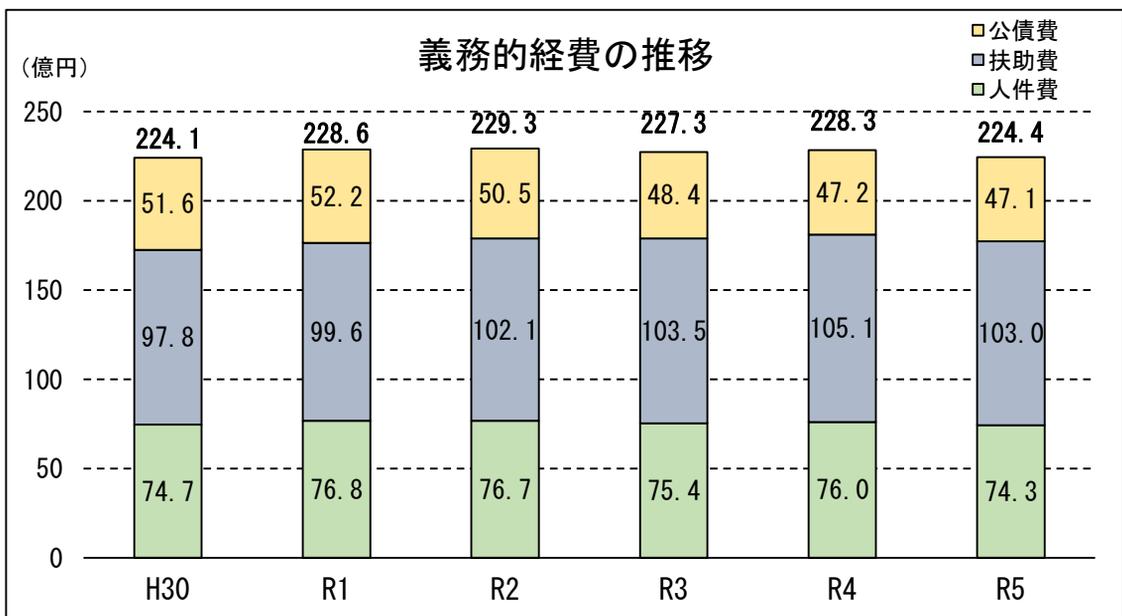
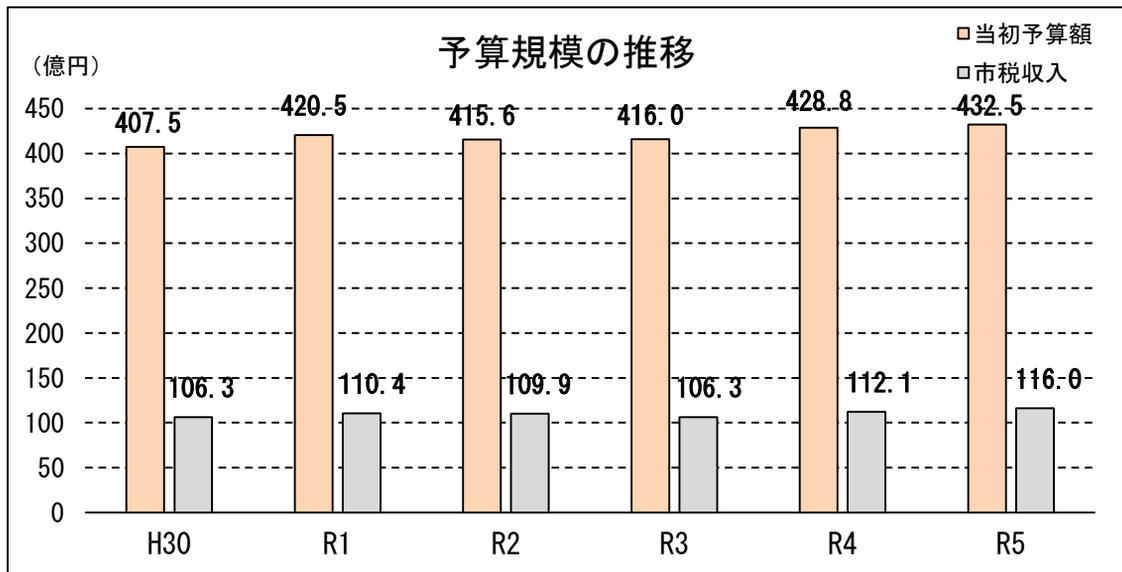
衛生費の主な増減 (千円)

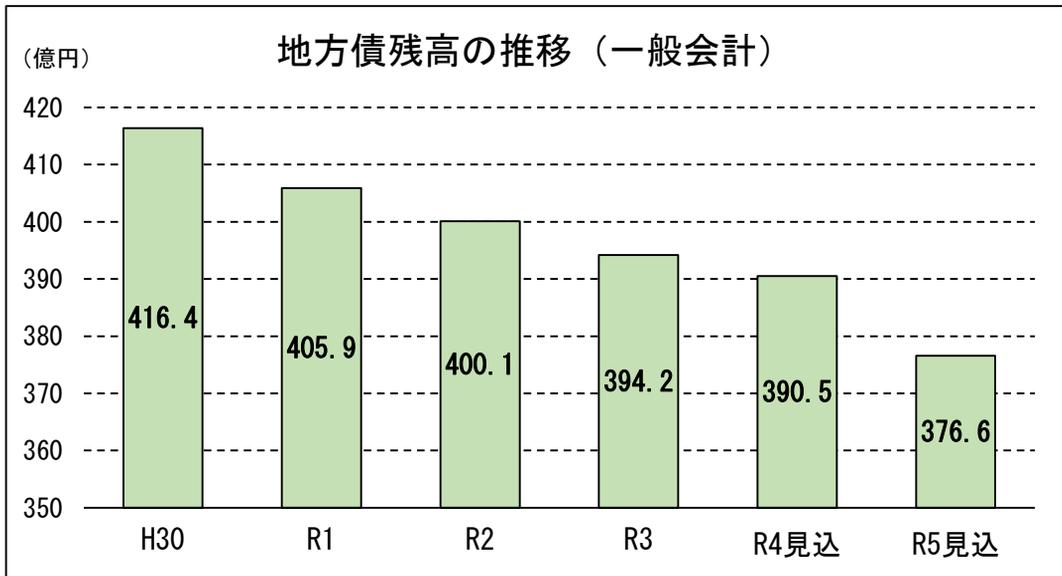
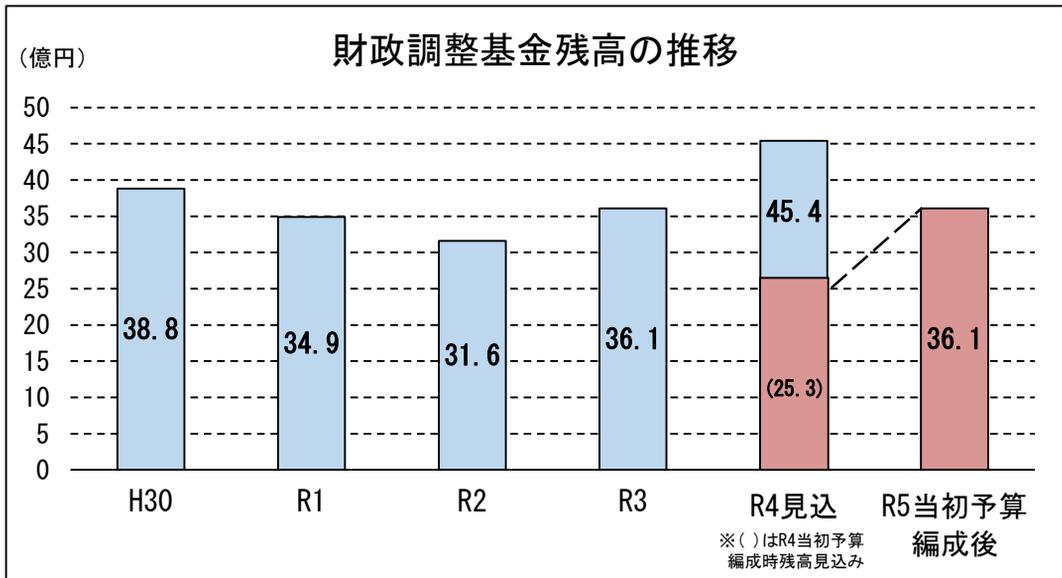
事業名	予算額	対前年
ごみ処理施設整備事業	131,014	△940,750
新型コロナウイルスワクチン接種	512,713	+179,386
出産・子育て応援交付金	69,819	+69,819

教育費の主な増減 (千円)

事業名	予算額	対前年
北部小学校校舎増築事業	242,478	+82,231
A I型ドリル導入事業	19,866	+19,866
耶馬溪公民館整備事業	246,470	+165,970

6. 予算規模等の推移





- R 4 年度及び 5 年度の地方債残高については、予算額ベースの残高であるため、決算額（実際の残高）は上記の数値から減少する見込みです。

Ⅱ. 令和5年度指針別主要事業

これまで進めてきた暮らし満足向上のための施策の着実な展開、更なる深化を図ると同時に、ポストコロナにおける社会経済活動の再活性化を目指し、市民みんなが自ら考え、地域の実情を踏まえた課題解決に向け取り組むことで活力づくりを目指す「共創のまちづくり～地域の力をなかつの未来に～」をテーマとしました。

安心づくり

● 新規施策 ● 拡充施策
 アンダーライン施策は個別資料あり

◆ 災害に強い安全なまちづくり

- 本庁機械棟整備事業〔3億6,172万円〕
- 牛神湯屋雨水幹線整備事業〔下水道事業〕〔4,800万円〕
- 雨水ポンプ場整備〔下水道事業〕〔3億6,300万円〕
- FM告知端末更新（機能強化）〔2,200万円〕
- 防災告知放送システム更新〔3,850万円〕
- 防災無線・緊急災害情報告知放送システム保守点検〔932万円〕
- 海拔表示板更新〔294万円〕
- 避難所用ポケットWi-Fiリース料〔38万円〕
 - 旧市内学校施設（南部、北部、豊田、沖代、鶴居、小楠、城北）
- ジュニア防災士育成〔12万円〕
 - ジュニア防災士30人を育成
- 防災拠点整備（B&G関連）〔2,500万円〕



FM告知端末



海拔表示板

◆ 地域医療の確保

- 新型コロナウイルスワクチン接種事業〔5億3,955万円〕
- 看護師確保対策補助金〔300万円〕
- 病院事業会計補助金〔1億5,481万円〕
 - 医師確保、医師研修費、保育所運営費に対する補助



ワクチン接種

◆ 健康寿命延伸・予防医療の取り組み

- ④ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業〔395万円〕
- ・ 成人保健対策事業〔8,961万円〕
 - 健診予約受付を夜間・土日まで拡大
- ・ 健康対策推進事業〔172万円〕
- ・ フッ化物塗布事業〔429万円〕



田舎困りごとサポート

◆ 「安心」で繋ぐ地域づくり

- ・ 心配ごと相談事業〔65万円〕
- ・ 地域福祉ネットワーク協議会活動支援〔222万円〕
- ⑨ ヤングケアラー支援体制強化〔248万円〕
 - 関係機関と連携した実態調査と適切な福祉サービスの提供
- ・ 田舎困りごとサポート〔96万円〕
- ・ 買い物支援事業〔424万円〕
- ・ あんしん宅配事業〔53万円〕
- ⑨ 空家等実態調査〔716万円〕
- ④ 空き家バンク業務〔1,070万円〕
- ④ 重層的支援体制整備事業〔3億2,729万円〕



あんしん宅配事業

◆ 誰もが生き生きと暮らせるまちづくり

- ・ 成年後見制度利用促進〔1,992万円〕
- ・ 障がい者基本計画等策定〔292万円〕
- ・ 子ども・事業所向け手話教室〔74万円〕
- ・ 高齢者の生きがい・健康づくり推進事業〔211万円〕
- ・ 手話ボランティア活動支援〔50万円〕
- ・ 障害者雇用促進〔38万円〕
- ⑨ 障がい児・者GPS機器導入費補助（障がい者）〔25万円〕
- ・ （再掲）地域福祉ネットワーク協議会活動支援〔222万円〕
- ④ 元気！いきいき☆週一体操教室【介護特会含む】〔1,233万円〕
- ・ 地域介護予防活動支援事業〔25万円〕
- ⑨ 外国人相談窓口設置〔1,180万円〕



子ども向け手話教室



週一体操教室

◆ 地域コミュニティの活性化

- 中山間地域創業支援事業補助金〔649万円〕
- 中山間地域活性化支援〔3,200万円〕
 - 中山間（旧下毛）地域において、交流人口、関係人口の創出のため、地域の様々な主体が行う取り組みを支援
 - サイクリングロード活用支援補助金
- 耶馬溪公民館整備〔2億4,647万円〕
- 樋田地区公民館延命改修〔474万円〕
- 津民地区公民館空調整備〔101万円〕



耶馬溪公民館（完成イメージ図）

◆ みんなが子育てしたくなるまちづくり

- 第3期子ども・子育て支援事業計画策定〔228万円〕
- 子育てと仕事の両立支援助成〔100万円〕
- レスパイトケアなど子育て短期支援〔120万円〕
- 放課後児童健全育成事業〔3億862万円〕
- ファミリーサポート・センター事業〔233万円〕
- 子どもいきいきプレイルーム運営事業〔1,956万円〕
- 児童館運営事業〔2,624万円〕
- ひとり親家庭医療助成〔6,357万円〕
- 保育士・幼稚園教諭就職応援金〔230万円〕
 - 応援金支給対象者を市外在住者にも拡大
- 中津にこここ保育支援事業〔1,893万円〕
- 子ども医療費助成〔2億7,000万円〕
- 出産・子育て応援給付金〔6,982万円〕
- 出会いの場づくり事業〔125万円〕
 - OITAえんむす部入会登録料の助成など
- 結婚新生活支援補助金〔330万円〕
- 中津子ども園事業〔4,195万円〕



放課後児童クラブ



子どもいきいきプレイルーム



中津子ども園での活動風景

元気づくり

◆ 企業誘致の促進と中小企業の事業継続・人材確保の支援

- 企業合同就職説明会の開催〔272万円〕
- （有資格者）人材バンク就職支援〔332万円〕
- 外国人労働者受け入れ支援〔8万円〕
- 企業立地促進助成金〔2億7,550万円〕



合同就職説明会

◆ 若者や女性が働きたいまち

- 福岡の若者に対する企業PR事業〔44万円〕
- 創業セミナー、女性起業家支援〔199万円〕
- ジョブカフェ運営事業〔306万円〕



福岡市大名にある県の若者向けUIターン拠点施設（dot.）

◆ 農林水産業等における担い手育成と収益性向上

- **新** • ドローン活用による省力化・効率化〔139万円〕
 - 作付け状況などの確認を目視からドローンに変更することで、省力化・効率化を図る
- **新** • 集落営農持続発展対策〔175万円〕
- 農業経営収入保険事業費補助金〔117万円〕
- なかつ6次産業創生事業〔1,410万円〕
- 林業振興事業（森林環境譲与税）〔6,478万円〕
- **新** • 市民おさかな感謝デー〔211万円〕
 - 令和6年度「第43回全国豊かな海づくり大会」大分県大会に向けたイベント
- **新** • “なかつ逸品”のすゝめ〔140万円〕
 - 既存の名産品知名度向上や販路拡大などを図る



ドローンを活用した害虫防除の様子

◆ 山国川上下流域を結ぶ観光振興

- メイプル耶馬サイクリングロード活性化事業〔170万円〕
 - 通常のサイクリングイベント期間中に、中津日田道路開通イベントを同時開催予定
- 自然水族館整備事業〔1,254万円〕
 - 増水時に洗堀被害を受ける通路の一部をコンクリート張りへ改修
- 西谷農村公園施設整備事業〔1,208万円〕
- 青の洞門周辺整備事業（レストハウス周辺整備）〔9,124万円〕
- 耶馬トピア整備事業〔2,764万円〕
- 洞門キャンプ場整備事業〔2,440万円〕
- 猿飛千壺峡整備事業〔3,038万円〕
- おおいたノースエリア連携協議会補助金（DC関連）〔60万円〕
 - 大分・豊後高田・宇佐3市連携観光誘客事業負担金
- 競秀峰・猿飛千壺峡看板整備事業（DC関連）〔290万円〕



サイクリングイベント



洞門キャンプ場（バルンバルンの森）

◆ 移住・定住・UIターン促進

- （再掲）結婚新生活支援補助〔330万円〕
- 移住・定住支援事業〔1,016万円〕
- 空き家改修等事業補助金〔650万円〕
- Uターン住宅改修事業補助金〔400万円〕
- （再掲）空き家等実態調査〔716万円〕
- （再掲）空き家バンク業務〔1,070万円〕
- 移住推進・空き家利活用（ホームページ）〔43万円〕



移住体験ツアーの様子

◆ 公民連携・政策連携によるにぎわいづくり

- 商店街等共同設備補助金〔250万円〕
- 商店街にぎわいづくり支援・地域商業活性化支援補助〔350万円〕
- ④ • おおいた地域連携プラットフォーム事業〔62万円〕
- ④ • 官民共創推進事業（渋谷キューズ関連）〔243万円〕
 - （再掲）子どもいきいきプレイルーム運営事業〔1,956万円〕
- ⑨ • （再掲）“なかつ逸品”のすゝめ〔140万円〕



渋谷キューズ

◆ 「ふれあい」「親しむ」文化・スポーツの振興

- ④ • ダイハツ九州スポーツパーク大貞スケートボードセクション設置事業〔1,658万円〕
 - スケートボードセクションの設置、オープニングイベントの開催
- ⑨ • ダイハツ九州スポーツパーク大貞トイレ建替事業〔4,467万円〕
 - スポーツ・レクリエーション教室開催〔138万円〕
 - 共生社会推進レクリエーション事業〔74万円〕
- ⑨ • ふれあいスポーツセンター整備事業〔600万円〕
- ⑨ • ダイハツ九州アリーナ整備事業〔1億5,330万円〕
 - 令和6年度高校総体に向けた床の改修、照明のLED化
- ⑨ • やまくにスポーツパーク整備事業〔710万円〕
- ⑨ • 小幡記念図書館整備事業〔218万円〕
 - 神尾家住宅茅葺屋根改修補助金〔140万円〕
 - なかはく展示事業〔1,111万円〕



スケートボードエリア
(完成イメージ図)



なかはく企画展

◆ 「不滅の福澤プロジェクト」

総事業費〔4,342万円〕

- ソフト事業〔4,043万円〕
 - 情報発信・誘客事業（カプセルトイレ企画、メディアミックス広告など）
 - 受入体制整備事業（まち歩きマップ製作、36ぷらす3おもてなし委託など）
 - 地域素材磨き事業（カレーフェスティバル、おみやげプロジェクトPR支援など）
 - イベント実施事業（三津同盟・深谷市イベント、ノベルティ製作など）
 - 教育関連事業（なかはく特別展開催、講演会、弁論大会など）
- ハード事業〔299万円〕
 - 福澤記念館整備（主屋の屋根、土蔵の整備）



未来づくり

◆ 教育環境の整備と子どもの可能性を広げる教育

- ICT教育の推進〔2億2,366万円〕
 - GIGAスクールサポート配置、学校のPCリース、教育システム運用支援など
- オンライン学習用通信費の助成〔1,576万円〕
- 日本語指導員増員配置〔1,352万円〕
- 学力向上学習補助員設置〔3,367万円〕
- 国際化推進員・外国語指導助手配置〔5,808万円〕
- APUイングリッシュキャンプ事業〔28万円〕
- 不登校児童・生徒支援〔735万円〕



タブレットを活用した授業



APUイングリッシュキャンプ

- AI型ドリル導入〔1,987万円〕
- 北部小学校校舎増築事業〔2億4,248万円〕
- 南部小学校施設長寿命化改良事業（3月補正）〔1億5,840万円〕
- 豊田小学校プール改修〔1,300万円〕
- 小学校屋内運動場照明LED化（北部・豊田・秣・樋田）〔2,158万円〕
- 小学校屋外トイレ改修（和田・沖代）〔1,250万円〕
- 中学校屋内運動場照明LED化（今津・三光・本耶馬溪）〔2,080万円〕
- 中学校屋外トイレ改修（豊陽）〔1,450万円〕
- スクールバス購入（山国地区）〔491万円〕
- 新共同調理場整備事業〔1,411万円〕



更新するスクールバス

◆ 地域で活躍する人材の育成

- 小学生ものづくり体験〔100万円〕
- 職人フェスティバル〔100万円〕
- 新中津市学校での市民講座・調査研究など〔1,539万円〕
- ふるさと学習〔169万円〕
- 中津南高校耶馬溪校通学支援〔498万円〕



職人フェスティバル

◆ 「脱炭素社会」「環境共生都市なかつ」の実現

- ごみ減量対策〔1億359万円〕
 - ▶ 指定ごみ袋事業、ごみ質組成調査委託など
- ♻️ • プラスチック資源化〔3,267万円〕
- 「なかつキエーロ」普及促進〔471万円〕
- エコステーション設置事業などリサイクル推進〔3,194万円〕
- 希少生物保護のための環境調査〔184万円〕
- 🆕 • LED照明改修事業〔1億8,801万円〕
- 🆕 • トイレ洋式化改修事業〔9,541万円〕



古紙エコステーション

◆ 「命」を守り「暮らし」を支える交通網の整備

- 通学児童の安全確保に主眼を置いた道路整備事業〔550万円〕
- 下池永西大新田線外 1 線道路改良事業〔1,110万円〕
- 宮永角木線街路事業〔3億1,900万円〕
- 🆕 • 大貞永添線外 1 線交差点改良事業〔700万円〕
- 大貞加来一号线交差点改良事業〔5,300万円〕
- 横断歩道橋長寿命化修繕事業〔1,600万円〕
- 🆕 • 今津駅屋根付駐輪場整備〔650万円〕



通学児童の安全確保
(グリーンベルト)

◆ 持続可能なコンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり

- コミュニティバス運行事業〔7,231万円〕
- 地方バス路線維持事業〔6,499万円〕
- 🆕 • バス路線オープンデータ活用〔8万円〕
 - ▶ コミュニティバスのバス停、ダイヤ情報等をオープンデータ化し、
グーグルマップ等に反映することで、利用促進を図る
- 🆕 • バスマップデータ活用〔81万円〕
- 交通弱者支援（高齢者・障がい者）〔753万円〕
- （再掲）空き家等改修事業補助金〔650万円〕
- （再掲）Uターン住宅改修事業補助金〔400万円〕
- 🆕 • （再掲）空き家等実態調査〔716万円〕
- ♻️ • （再掲）空き家バンク業務〔1,070万円〕



令和4年度に整備した
東中津駅の駐輪場



コミュニティバス

◆ 自治体DXの推進

- 公共不動産情報発信〔53万円〕
- DX推進業務委託〔255万円〕
- **新** 地域デジタル活用支援員〔8万円〕
 - 高齢者を対象にしたスマートフォン講座の講師やサポート
- 幼稚園保護者間連絡アプリ導入〔5万円〕
- **新** 若者の未来を創造するデジタル活用事業〔363万円〕
 - 中・高校生を対象にデジタル人材を育成（民間企業との共催）
- **拡** マイナンバーカード取得促進〔3,472万円〕



スマートフォン講座



マイナンバーカード申請受付

その他重点施策

◆ 物価高騰対策

- プレミアム商品券事業（3月補正）〔2億400万円〕
- 学校給食提供支援補助事業（3月補正）〔1,833万円〕



◆ 感染症への対応

- （再掲）新型コロナウイルスワクチン接種事業〔5億3,955万円〕

Ⅲ. 主要事業の詳細

本庁舎機械棟整備事業

【財政課】

(単位：千円)

予算額	財源 内訳	国庫	県	市債	その他	市負担
361,715					361,700	

【事業の概要】

本庁舎は、災害発生時に、災害対策本部を設置する防災拠点となりますが、洪水や高潮による浸水想定区内に位置しています。浸水被害が発生した場合には、本庁舎地下に設置している電気設備等が損傷し、災害対策本部としての機能低下を生じる可能性があります。本庁舎地下に設置してある電気設備や空調設備等を地上に再配置するため、機械棟を新築します。

R4年度に機械棟実施設計を行い、R5年度より新築工事に着工します。

【主な事業費】

機械棟新築及び電気・空調設備設置に係る総事業費：1,209,050千円

R5年度 機械棟整備工事：356,715千円

既存庁舎設備改修にかかる実施設計委託料：5,000千円

【期待される効果】

本庁舎の電源設備等の配置見直しを行い、大規模災害発生時にも、災害対策本部としての機能を最大限発揮できるよう防災強化を図ります。

牛神湯屋雨水幹線整備事業（下水道事業）

【排水対策課】

(単位：千円)

予算額	財源 内訳	国庫	県	市債	その他	市負担
48,000			21,500		26,500	

【事業の概要】

近年の集中豪雨による被害を軽減するため、ソフト面の対策として「中津市内水ハザードマップ」を作成してきました。今後はハード面の対策として、幹線水路や雨水ポンプ場の整備を推進します。

【主な事業費】

水路整備工事等：48,000千円

【新規】ジュニア防災士養成事業

【防災危機管理課】

(単位：千円)

予算額	財源 内訳	国庫	県	市債	その他	市負担
123						

【事業の概要】

市内の主に小学4～6年生約30名を対象に、ジュニア防災検定（一般財団法人防災教育推進協会主催）と家族で参加できる防災・減災に関する体験を組み合わせたプログラムを実施し、子どもたちの「防災力」の育成を図ります。



【事業費】

- ・ジュニア防災検定受験手数料63千円
- ・防災・減災に関する体験プログラム経費60千円

【期待される効果】

家族で防災・減災に取り組む機会を提供することで、次代のまちづくりを担う子どもたちの防災意識や自主性が養われることが期待されます。



【新規】海拔表示板更新事業

【防災危機管理課】

(単位：千円)

予算額	財源 内訳	国庫	県	市債	その他	市負担
2,935				1,467		

【事業の概要】

10年前に設置した海拔表示板の約500箇所の更新と併せて、表示内容の多言語化や、二次元バーコードを通じた防災ポータルサイト及び防災マップWEB版への誘導を図ります。



【事業費】

海拔表示板更新等委託料2,935千円

【期待される効果】

30年以内に発生すると言われる巨大地震への備えの周知と併せて、近年増加している外国人が災害弱者になることを防ぐ効果が期待されます。



【拡充】告知放送システム更新事業

【防災危機管理課】

(単位：千円)

予算額	財源 内訳	国庫	県	市債	その他	市負担
61,490				38,500		22,990

【事業の概要】

三光・本耶馬溪・耶馬溪・山国地域に整備している防災情報等の告知放送システムを強化するために機材の更新を図るほか、可動性がある戸別の告知端末を新たに購入します。

【事業費】

- 告知放送システム整備委託料38,500千円
- 告知端末購入費22,000千円
- 告知端末設置点検委託料990千円



【期待される効果】

災害リスクの高い中山間地域における防災情報等の告知放送システムを更新・強化することで、災害に強い安全なまちづくりが推進されます。

【新規】防災拠点整備事業（B & G 関連）

【防災危機管理課】

(単位：千円)

予算額	財源 内訳	国庫	県	市債	その他	市負担
25,000					25,000	0

【事業の概要】

B & G財団の助成事業を活用し、①防災拠点の整備、②人材の育成を図ります。

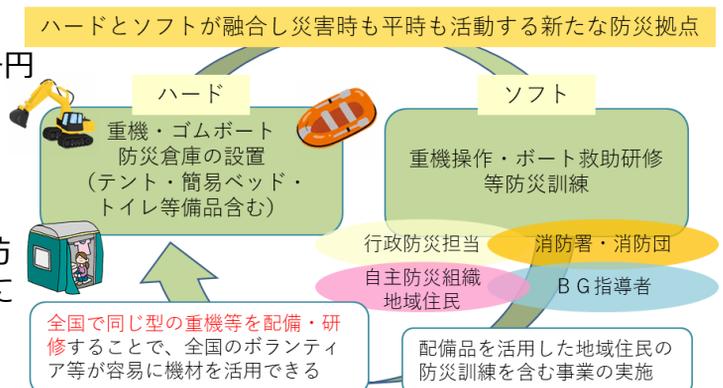
- ①災害時の緊急対応や避難所運営に必要な機材配備や防災倉庫を整備
- ②災害の緊急対応のため、主に重機などを用いた各種研修・訓練により、人材育成を行うほか、住民等を対象にした避難所運営訓練や防災学習を開催

【主な事業費】

- 避難所用物品購入費11,383千円
- 倉庫整備工事費6,545千円
- ボート等購入費4,072千円

【期待される効果】

B & G財団が推進する「新たな防災拠点の設置」などに参画することにより、周辺自治体と災害時の相互応援体制の強化が図られます。



【新規】健診予約受付事業

【地域医療対策課】

(単位：千円)

予算額	財源 内訳	国庫	県	市債	その他	市負担
4,280						4,280

【事業の概要】

これまで市の保健師が行っていた特定健診・がん検診の電話予約受付を委託し、夜間や土日などの休日にも予約可能とすることで、受診希望者の利便性を高めます。

また、委託することにより生まれる保健師の業務時間を活用し、糖尿病の重症化予防をはじめとする保健指導を強化します。

	令和4年度まで	令和5年度から
受付時間	8:30～17:15 (平日の開庁時間内で受付)	8:30～20:00 (土日休日含む全日)
対応者	市保健師	専用オペレーター

※インターネット予約は24時間可能です。

【期待される効果】

予約の利便性を高めることで、受診率の向上が期待できます。また、委託することによる業務時間を活用した保健指導の強化により、医療費の抑制を図ることができます。



【新規】ヤングケアラー支援体制強化事業

【子育て支援課】

(単位：千円)

予算額	財源 内訳	国庫	県	市債	その他	市負担
2,477		2,477				0

【事業の概要】

親の介護や幼いきょうだいの世話など、年齢に見合わない重い責任や負担を負う事で学校生活や身体に影響を及ぼすヤングケアラーの早期発見・早期支援につなげるため、コーディネーターを1名配置し、啓発活動や、教育委員会等関係機関と連携した支援体制を構築します。

【期待される効果】

家庭内のデリケートな問題であることから表面化しづらいという課題があり、関わる周りの大人が早めに気づき、気持ちに寄り添った支援を家族全体の問題として捉え、関係機関が連携して支援していくことで、子ども自身の権利が守られる社会を形成していきます。

【拡充】空き家等適正管理推進事業（空き家バンク）

【まちづくり推進課】

（単位：千円）

予算額	財源 内訳	国庫	県	市債	その他	市負担
10,698						

【事業の概要】

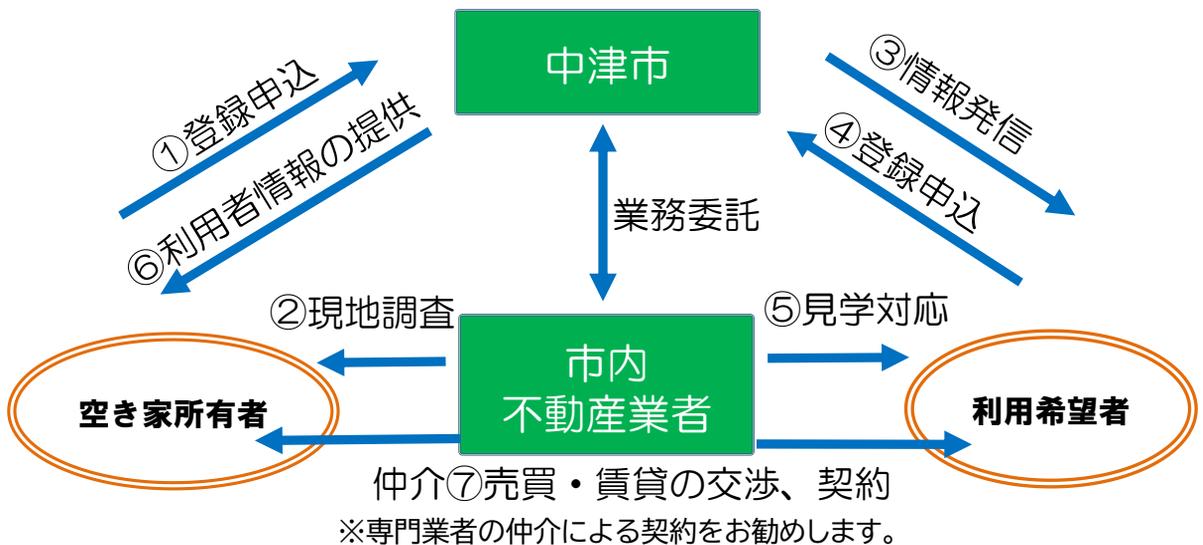
昨今、維持管理が不適切な空き家の増加により景観の悪化・近隣住民の生活環境の悪化が全国的に問題となっており、中津市でも年々そのような空き家が増えてきています。現在は過疎対策として旧下毛地域で『空き家バンク』を運営してきましたが、令和5年度より**中津市内全域を対象**に、空き家の利活用についても推進していきます。

【空き家バンクとは？】

空き家を売りたい・貸したい物件所有者と、買いたい・借りたい利用希望者とをマッチングさせる制度です。

空き家バンクに登録した物件情報は市のホームページ等で掲載し、広く情報発信をします。

空き家の有効活用と、都市住民との交流及び定住促進による地域の活性化を図ることを目的としています。



【事業費】

委託料 R4年度 3,407千円 (旧下毛地域のみ) → R5年度 10,698千円 (市内全域)

【期待される効果】

対象範囲を拡充し空き家の利活用を促すことで、空き家の増加を抑制し景観や生活環境の悪化を招く維持管理が不適切な空き家の解消を図ります。

【新規】障がい児・者GPS機器導入費補助金

【福祉支援課】

(単位：千円)

予算額	財源 内訳	国庫	県	市債	その他	市負担
250						250

【事業の概要】

障がい児・者や家族が地域で安心して暮らし続けることができる環境づくりとして、知的障がいや精神障がいなどにより所在不明となる恐れのある方に対して、GPS等機器の導入に係る初期費用を補助します。

【対象者】

中津市に住民登録があり、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳を所持している方で、障がい児・者SOSネットワーク事業（令和5年度から実施予定）に事前登録をしている方（施設入所者を除く）

※障がい児・者SOSネットワーク事業

行方不明の恐れのある障がい児・者の情報を本人・家族が事前に中津市福祉支援課に届出を行い、その情報を中津警察署・中津市消防本部等で共有し、行方不明事案が発生した場合に連携し、捜索に役立てることを目的とします。

【補助額】

GPS機器の導入に係る初期費用の一部（上限10,000円）を補助します。

※月額利用料や通信料は対象外

※対象者一人につき、1回限りの補助とします。

【主な事業費】

GPS機器導入費補助金

10,000円 × 25人 = 250千円



【期待される効果】

注意力の欠如や衝動性・多動性から、一人で飛び出して行方不明になり、事故に巻き込まれるなどを未然に防ぐことで、家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ります。

【新規】外国人相談窓口設置・運営事業（多文化共生事業）

【総合政策課】

（単位：千円）

予算額	財源 内訳	国庫	県	市債	その他	市負担
11,800		8,000				3,800

※地域振興基金活用事業

【事業の概要】

近年、市内では技能実習生などを中心に外国人居住者が増加していることから、外国人の方が暮らしの様々な困りごとなどを相談できる一元的な窓口を設置します。相談内容に応じて支援窓口へつないだり、適切な情報提供を行います。平日の日中に働いている人たちも相談しやすいように、夜間や休日も対応します。

外国人相談窓口設置運営委託料 11,800千円

【期待される効果】

困りごとを抱える外国人をスムーズに支援へとつなぐことができるとともに、「どこに相談したらいいのかわからない」「仕事で相談に行く時間がない」といった、これまで顕在化していなかった困りごとや、分野をまたがる複合的な困りごとにも対応が可能になります。



【拡充】週一体操活動補助金

【介護長寿課】

（単位：千円）

予算額	財源 内訳	国庫	県	市債	その他	市負担
1,800		450	225			900

【事業の概要】

元気！いきいき☆週一体操教室の立ち上げ・活動の継続促進を図るため、意欲的に取り組む教室に対し、必要物品の購入費用を助成します。

補助対象者	①新規に立ち上がる教室 ②すでに立ち上がっている教室で物品を新たに購入する教室、または物品が故障し買い替える必要のある教室
補助条件	3年以上継続的に取り組むこと
補助対象物品	テレビ・DVDデッキ・プロジェクター・イス・フロアマット等
補助額	補助対象物品の購入費用の9割（上限9万円）× 20団体

【期待される効果】

週一体操教室を実施する上で必要なハード面に対する整備負担の軽減を図ることで、目標としている市内100か所の教室立ち上げに向けた事業の推進やフレイル予防が期待できます。

【拡充】中山間地域創業支援事業補助金

【商工・雇用政策課】

(単位：千円)

予算額	財源 内訳	国庫	県	市債	その他	市負担
6,490			500		2,272	3,718

※ふるさとなかつ応援基金活用事業

【事業の概要】

中山間地域において移住者又は定住者が創業する際に要する経費を市が補助することにより、集落機能の維持及び定住促進による地域の活性化を図ります。

令和5年度からは、補助金額を増額するとともに、効果的な周知を行うことにより創業希望者の掘り起こしを行い、中山間地域のさらなる振興を推進します。

- (対象者) 中山間地域で創業する移住者又は定住者で、一定の要件を満たす方
- (対象事業) 中山間地域の振興及び活性化に寄与すると認められる事業
- (対象経費) 創業に要する下記の経費

科目	内容
工事費	事業所の新増築工事費又は改築工事費、ケーブルネットワーク引込工事費及び屋内工事費
設備費	備品購入費、設備費及び設備等運搬費、事業用車両購入費
役務費	不動産契約仲介手数料、登記手数料、広告宣伝費等

【主な事業費】

中山間地域創業支援事業補助金	6,000千円 (1,000千円×6件)
広告料	300千円
印刷製本費	190千円
計	6,490千円

【期待される効果】

中山間地域の集落機能の維持及び定住促進による地域の活性化



人口減少が著しい旧下毛地域において、地域が主体となって行う地域活性化の取組みに対して、スタートアップから運営まで継続的な支援をすることで、交流人口・関係人口を創出し、持続可能な活力ある地域づくりを推進します。

また、サイクリングロードを活用したイベントやツアー等の開催を支援することで地域の魅力発信と活性化を推進します。

【新規】中山間地域活性化支援事業

【地域振興・広聴課】

【観光推進課耶馬溪観光室】

(単位：千円)

予算額	財源 内訳	国庫	県	市債	その他	市負担
32,000						32,000

【事業の概要】

中山間（旧下毛）地域において交流人口、関係人口の創出のため、地域の様々な主体が行う取組みを支援します。

また、メイプル耶馬サイクリングロードを活用した、国内外からのツアー客を受け入れる旅行事業者ならびに個人事業者に向けた支援を行います。国内外からより多くの方がサイクリングロードを利用することで、さらなるサイクリングロードの魅力発信と地域の活性化を進めていきます。

- (1) 交流・関係人口創出支援事業補助金（8,000千円）
- (2) 交流・関係人口創出スタートアップ支援事業補助金（12,000千円）
- (3) 地域活性化事業（提案型）補助金（10,000千円）
- (4) サイクリングロード活用支援補助金（2,000千円）

※詳細右ページ

【期待される効果】

- ・地域外からの人流が生まれることで地域の活性化が図られます。
- ・地域住民により事業が推進されることで、地域の活性化が図られます。
- ・地域外からの人と地域住民との交流が生まれることで、地域への移住促進が期待されます。
- ・旅行事業者への支援を行う事で、サイクリングロードを活用した旅行者がさらに増え、長い時間滞在をしてもらうことにより、メイプル耶馬サイクリングロードの魅力向上や地域の活性化に繋がることが期待されます。さらには、訪日外国人の利用促進にも繋がり、インバウンド効果も期待されます。

補助メニュー	補助概要	補助率	限度額
交流・関係人口創出 支援事業補助金	主として地域外との交流、地域外からの集客を目的に実施するイベント等に要する経費を支援	10/10 以内	100万円
交流・関係人口創出 スタートアップ支援 事業補助金	主として地域外との交流、地域外からの集客を目的に実施するイベント以外の事業を支援		
	(a) 事業運営支援 各種取り組みを実施するにあたり、事業運営に関する経費を支援	10/10 以内	100万円
	(b) スタートアップ支援 各種取り組みを実施するにあたり、ハード整備・備品購入等の経費を支援 ・補助対象期間：最長3年間	4/5 以内	3年間で 200万円
地域活性化事業 (提案型) 補助金	地域活性化（主として経済面）に資する事業提案の中から審査会で事業効果を認められた事業を支援 ・補助対象期間：最長4年間 (事業採択5年目に事業評価を実施)	10/10 以内	4年間で 1,000万円
サイクリングロード 活用支援補助金	サイクリングロードを活用し、旅行事業者や個人事業者がイベントやツアーを企画する際の経費を支援	10/10 以内	50万円



市内には15箇所の公民館と、その分館である10箇所の地区公民館があります。これらの施設について、地域の拠点として防災機能や地域コミュニティの維持活性化に必要な機能を確保しつつ、老朽度合や配置等も考慮した複合的な整備・更新を進めていきます。

耶馬溪公民館整備事業

【耶馬溪支所 地域振興課】

(単位：千円)

予算額	財源 内訳	国庫	県	市債	その他	市負担
246,470					116,900	129,471

※耶馬の森林活性化基金活用事業

【事業の概要】

耶馬溪公民館は昭和48年に建設され、老朽化が進み、耐震性の問題や過去の水害時には施設の一部が浸水するなど、安全面でも課題を抱えていました。

新たな公民館については、地盤高を耶馬溪支所駐車場の高さまで嵩上げし、災害時の避難場所として防災機能を高め、図書館や地域住民の生涯学習活動の拠点としての整備を行っています。

【主な事業内容】

令和4年度 既存建物(文化ホール部分)解体、造成工事

令和5年度 新築工事 (70%)

令和6年度 新築工事 (30%)、既存建物(公民館部分)解体、造成工事

令和7年度 駐車場整備工事 → 完成

【期待される効果】

住民の防災、交流やコミュニティ活動の拠点施設として、暮らしの安全の確保や地域コミュニティの活性化が図られます。

～最近の公民館整備状況～

- ・和田コミュニティーセンター(R2完成)
- ・西谷地区公民館 (R2完成)
- ・三光コミュニティーセンター(R3完成)



耶馬溪公民館 (完成イメージ図)

【拡充】保育士・幼稚園教諭就職応援金事業

【保育施設運営室】

(単位：千円)

予算額	財源 内訳	国庫	県	市債	その他	市負担
2,300					2,300	0

※ふるさとなかつ応援基金活用事業

【事業の概要】

保育士の確保対策として、市内の民間保育施設に就職する新規採用保育士や再就職する潜在保育士等に対し、1人あたり10万円の応援金を支給する事業です。

これまでは対象者を市内在住者に限定していましたが、令和5年度からは市外在住者まで支給対象枠を拡大します。

【期待される効果】

市内外を問わず対象者とするこゝで、慢性的な保育士不足の解消や、将来保育士をめざす人材の増加につなげます。



【拡充】出会いの場づくり事業

【地域振興・広聴課】

(単位：千円)

予算額	財源 内訳	国庫	県	市債	その他	市負担
1,254						1,254

【事業の概要】

少子化対策の一助として、市内の団体や企業との協働によるカップリングパーティー等の開催や成婚したカップルに結婚祝いの商品券を配布します。

また、大分県の「OITAえんむす部出会いサポートセンター」への入会促進を目的として、入会登録料を助成します。(新規)

【主な事業費】

- ・結婚お祝い商品券 150千円 (1組 50千円)
- ・出会いの場づくり事業負担金 600千円 (1団体 100千円)
- ・出会いサポートセンター入会登録助成金 504千円
- ※入会金及び更新料 (2年間) 10千円のうち7千円を助成



【期待される効果】

- ・出会いの場作りをパーティー形式と会員制マッチングシステムの両面から支援することで成婚者の増大が期待されます。

OITAえんむす部出会いサポートセンター

大分県が行う結婚応援プロジェクトです。
 会員制による1対1のお見合いサービスを提供しています。
 R4.12月よりAIマッチングシステムを導入し、さらなる出会いのきっかけづくりの促進を図っています。



【新規】集落営農継続発展対策事業

【農政振興課】

(単位：千円)

予算額	財源 内訳	国庫	県	市債	その他	市負担
1,750			1,250			500

【事業の概要】

市内の集落営農組織は構成員の高齢化や減少が進む中で、集落営農の活性化に向けた人材の確保、収益向上に向けた取組、組織体制の強化などが課題となっています。

そこで安定的な経営継続に向けて、集落営農組織の広域化のモデル組織の立ち上げや、活動に対して総合的に支援します。

【事業の内容】

①集落営農組織の中核となる人材を確保するため、候補となる若者等を雇用する経費について支援します。

事業費 2,000千円（人件費、事務費等）

負担割合 県費1,000千円（定額）市費500千円（1/4）地元500千円（1/4）

②組織の法人化に必要な経費について支援します。250千円（県定額）

【期待される効果】

構成員の高齢化や減少により、現在の集落営農による経営継続が難しい状況にあるため、周辺組織との合併により広域営農組織を設立して効率的で持続可能な営農を実現します。

【新規】市民おさかな感謝デーイベント事業

【林業水産課】

(単位：千円)

予算額	財源 内訳	国庫	県	市債	その他	市負担
2,111		1,050				1,061

※地方創生推進対象事業

【事業の概要】

漁業者や仲買人、水産物小売業者などによって、市内外の消費者に地元の魚の美味しさや魅力を発信して消費につなげるイベントを開催します。

本イベントは令和6年度に大分県内で開催される「第43回全国豊かな海づくり大会」への機運醸成も目的としています。

【期待される効果】

地魚の魅力を発信することにより、魚食普及を促して水産物の消費拡大、魚価の安定につなげます。

「第43回全国豊かな海づくり大会」への機運醸成を図ります。



親子釣り体験



水産物の販売

【新規】“なかつ逸品”のすゝめ事業

【商工・雇用政策課】

(単位：千円)

予算額	財源 内訳	国庫	県	市債	その他	市負担
1,397					1,397	0

※ふるさとなかつ応援基金活用事業

【事業の概要】

中津の有名な銘産品といえばからあげや鰻などが知られていますが、まだまだ多くの銘産品やそれを作り出す技術が存在します。そのような銘産品や技術を、地元だけでなく、市外のたくさんの人に知ってもらうための新たなブランド推進事業を行います。

本事業は、水産品や農畜産品、菓子、民芸品などすべての銘産品を対象とすることで、「中津市といえばこのブランド！」という中津市を代表するブランド認証制度です。認証審査会の審査員に発信力の高いインスタグラマーの方などを起用し、ブランド認証品を様々なメディアやSNSによりPRしていくとともに、販路拡大や新商品の開発などに対する支援を、戦略的にを行います。

令和5年度は、市民参加型のブランドロゴを募集し、中津市民全体の機運醸成を図るとともに、第1回の認証審査会を開催する予定です。

【主な事業費】

審査員謝礼	50千円
アドバイザー委託料	450千円
広告料	300千円
事務費	597千円
計	1,397千円



【期待される効果】

中津市のすべての銘産品を一体的に市内外で周知することにより、様々なメディアやSNSなどでこれまで以上のPR効果が期待できるとともに、販路拡大や新商品の開発などに対する支援を行うことで、ブランド力の底上げが図られます。



【拡充】メイプル耶馬サイクリングロード
活性化事業

【観光推進課耶馬溪観光室】

(単位：千円)

予算額	財源 内訳	国庫	県	市債	その他	市負担
1,700					1,700	0

【事業の概要】

※地域振興基金活用事業

メイプル耶馬サイクリングロードのPRとレンタサイクルの普及を目的に、サイクリングを活用した集客イベントを実施いたします。

また、イベント開催期間中には、令和5年度中に開通を予定している中津日田道路の田口インターチェンジ～青の洞門・羅漢寺インターチェンジの開通記念イベントも合わせて実施する予定としています。

【主な事業費】

サイクリングイベント実施委託料 1,700千円



【期待される効果】

スタンプラリーなどの集客イベントを実施することで、市外からの誘客を図り、サイクリングロードのPRだけでなく、市内での宿泊や飲食などによる地域の経済効果を高めていきます。

【拡充】おおいた地域連携プラットフォーム事業

【総合政策課】

(単位：千円)

予算額	財源 内訳	国庫	県	市債	その他	市負担
620		254				366

※地方創生推進対象事業

【事業の概要】

おおいた地域連携プラットフォーム(※)を通じて、地域課題の解決に向けた取組みを大学等と連携して行います。昨年度に引き続き、日本文理大学と連携し「八面山観光振興」に取り組むほか、プラットフォームによるマッチングを活用して、地域課題解決の取組みをさらに拡大します。

【期待される効果】

学生の研究分野の知見やアイデアが地域課題の解決に活かされるだけでなく、フィールドワーク等を通して、学生の視点から新たな地域の魅力・資源の発見や、地域との関わりの創出にもつながります。

(※)おおいた地域連携プラットフォーム

県内の自治体、大学、商工団体、企業などにより構成される、地域課題解決や地域活性化、人材育成等に連携して取り組む協働組織。



【拡充】官民共創推進事業（SHIBUYA QWS）

【総合政策課】

（単位：千円）

予算額	財源 内訳	国庫	県	市債	その他	市負担
2,427		864				1,563

※地方創生推進対象事業

【事業の概要】

中津市は昨年7月から共創施設「SHIBUYA QWS」（東京都渋谷区）にパブリックメンバーとして加入しています。多様な会員とネットワークをつくり、地域課題や新たな挑戦に向けたアイデアを考えたり、首都圏での情報発信の場所として活用していきます。

【主な事業費】

- ・施設年会費 1,100千円
- ・プログラム企画運営委託料 600千円 等



【期待される効果】

首都圏に集まる企業や大学、個人会員などとのパートナーシップやネットワークを広げ、そこから得る多様なアイデアなどをもとに地域課題解決に向けた民間との共創によるまちづくりを進めます。

また中津市にゆかりのある人（市内の事業者、市職員、在京の中津出身者など）が活動の場としても活用してもらうことで、地域で活躍できる企業や人材を育成します。

令和5年度
SHIBUYA QWSで
中津市が考えるテーマ

■ 移住・定住促進、関係人口創出

移住相談会や、地域課題に関心のある人・企業とつながるプログラムなどの実施。



■ 公共施設（コアやまくに）の活用

特徴的な機能や空きスペースをより効果的に活用する方策を様々な主体と一緒に考えます。



■ 中津にゆかりのある人や企業の活動の場

市内の事業者や中津市出身の起業家などが、新たなチャレンジや課題解決のヒントを得る場所として活用を進めます。

【拡充】スケートボードセクション設置事業

【建設政策課・建設土木課】

(単位：千円)

予算額	財源 内訳	国庫	県	市債	その他	市負担
16,159				7,900	8,259	0

【事業の概要】

※ふるさとなかつ応援基金活用事業

令和4年度から整備をしているダイハツ九州スポーツパーク大貞内のスケートボードエリアに、愛好者が存分に利用できる環境づくりと利用促進のためにセクションを設置します。

【期待される効果】

障害物の無い“初心者用エリア”とセクションを設置する“中～上級者用エリア”を設けることで、習熟度に合わせて長く利用できるとともに、多くの方が満足できる環境が整い、周辺地域からの利用も期待できます。



【新規】ダイハツ九州スポーツパーク大貞
トイレ建替事業

【建設政策課・施設整備課】

(単位：千円)

予算額	財源 内訳	国庫	県	市債	その他	市負担
44,666		22,300		20,000	2,366	0

【事業の概要】

※ふるさとなかつ応援基金活用事業

大型遊具を設置し、子育て世代の利用が増えているダイハツ九州スポーツパーク大貞の「なかつわくわく・ふれあい広場」に隣接するトイレについて、施設を快適に利用できるようなトイレをリニューアルします。

【期待される効果】

建屋と設備を一新し、バリアフリー化と合わせ、子ども用便器やオストメイト、ベビーシートの整備など、すべての利用者にやさしいトイレを提供します。



【新規】ダイハツ九州アリーナ整備事業

【体育・給食課】

(単位：千円)

予算額	財源 内訳	国庫	県	市債	その他	市負担
153,300			570	108,900	20,000	23,830

【事業の概要】

ダイハツ九州アリーナは建築から14年が経過し、フロアのささくれやひび割れが発生するなど、老朽化が進んでいる状況です。

また、令和6年度には全国高校総体（インターハイ）の男女バレーボール会場としても使用される予定となっています。

今後も安心・安全に施設を利用してもらえるよう、体育施設用塩ビシートによるフロアの改修、照明のLED化を実施します。

【主な事業費】

床改修工事 : 90,370千円

LED改修工事 : 62,930千円

【期待される効果】

- アリーナ内の床を体育施設用塩ビシートに改修することにより、フロアのささくれ等を防止することができ、安心・安全な施設利用に繋がります。
- メンテナンス性や耐久性にも優れており、多目的な施設利用が期待できます。
- LED照明への改修により、省エネルギー化や二酸化炭素の排出抑制による環境負荷の低減に繋がります。



不滅の福澤プロジェクト事業

【観光推進課・社会教育課・総合政策課】

(単位：千円)

予算額	財源 内訳	国庫	県	市債	その他	市負担
43,424		16,244				1,852

※地方創生推進対象事業

※ふるさとなかつ応援基金活用事業

【事業概要】

昭和59(1984)年11月1日から“壹万円札”の顔となった福澤諭吉先生を、2024年の肖像交代を契機として令和4年度から6年度まで地方創生推進交付金を活用し、“オールなかつ”で重点的に顕彰するプロジェクトです。

【事業計画】

令和4年度は地方創生推進交付金を活用したプロジェクトのスタートとして、ソフト事業はロゴマークの決定、デザインポストなどの深谷市との連携事業、慶應義塾の連合三田会大会出展、永松茂久氏講演会などを実施しました。また、ハード事業として福澤記念館のリニューアルや駐車場整備を行いました。

令和5年度は翌年の壹万円札肖像交代に向けて、オールなかつで重点的にプロジェクトに取り組みます。



【事業内容】

予算総額:43,424千円

- ①教育・人材育成事業 21,800千円
- ②情報発信・誘客事業 6,104千円
- ③受入体制整備事業 7,622千円
- ④地域素材磨き事業 2,600千円
- ⑤イベント実施事業 5,298千円

※各事業の詳細は次のページ



【期待される効果】

福澤諭吉先生の故郷“中津”を全国に発信することで本市の知名度向上を図ります。また、グローバル時代にあらゆる場面で活躍する先生の教えを受け継いだ人材育成や先生を中心とした人的ネットワークを構築することで、福澤諭吉先生の偉業を後世に伝えていきます。

①教育・人材育成事業(21,800千円)

※各事業は、主な事業を抜粋



中津市歴史博物館で「お札の偉人(仮)」展や「海を渡ったサムライ(仮)」展を開催します。また、小中学校・公民館等の施設に、福澤諭吉先生の肖像画を設置します。

- | | |
|--|---------|
| (1)なかはく特別展開催 | 9,850千円 |
| (2)福澤諭吉肖像画製作 | 2,596千円 |
| (3)市民講座・講演会開催 | 1,690千円 |
| (4)福澤諭吉記念事業(福澤諭吉記念全国高等学校弁論大会・
諭吉かるた大会・中津市近郊小中学校書写展) | 1,800千円 |
| (5)まちなみ歴史探検事業 | 1,052千円 |
| (6)若者の未来を創造するデジタル活用事業 | 3,627千円 |

②情報発信・誘客事業(6,104千円)



中津ならではの景品を詰め込んだカプセルトイ企画やテレビ、YouTubeなどを活用した情報発信、大分空港や北九州空港などでの広告を実施します。

- | | |
|---------------|---------|
| (1)カプセルトイ企画事業 | 2,000千円 |
| (2)メディアミックス広告 | 3,234千円 |
| (3)観光PR媒体製作 | 658千円 |

③受入体制整備事業(7,622千円)



福澤諭吉先生が育った中津城下町をテーマとしたイベントや観光列車の受け入れ、英語ガイドの人材育成を実施します。

- | | |
|---|---------|
| (1)まち歩きマップの製作と活用
i 城下町スタンプラリー実施
ii 城下町看板整備(QRコード貼付) | 3,293千円 |
| (2)福澤諭吉旧居改修 | 2,985千円 |
| (3)36ぷらす3おもてなし委託 | 800千円 |
| (4)「諭吉ガイド」養成・スキルアップ講座 | 544千円 |

④地域素材磨き事業(2,600千円)



福澤諭吉先生が日本で初めて紹介した「コルリ」ことカレーをテーマとしたイベント実施や民間団体が取り組むPRを支援します。

- | | |
|---------------------|---------|
| (1)中津カレーフェスティバル実施 | 2,000千円 |
| (2)中津おみやげプロジェクトPR支援 | 300千円 |
| (3)電動キックボードPR支援 | 300千円 |

⑤イベント実施事業(5,298千円)



東京商工会議所物産展、深谷市連携イベント、慶應連合三田会大会、三津同盟観光イベントなどに出展し、観光や六次産品をPRします。

- | | |
|-----------------|---------|
| (1)三津同盟・深谷市イベント | 1,287千円 |
| (2)各種イベント出展 | 2,211千円 |
| (3)ノベルティ製作 | 1,800千円 |

児童生徒一人ひとりに応じた個別最適な学びの実現と、知識・技能を中心とした基礎学力の定着を効率的・効果的に図るために、AI型の教科学習ソフト(以下「AI型ドリル」という。)を導入します。

従来のドリル教材・プリント学習をフェーズ1、デジタルドリル(共通問題)をフェーズ2とすると、今回導入するAI型ドリルはフェーズ3と呼べるもので、AIが一人ひとりに合わせて最適な問題を出題するアダプティブラーニング教材で、より主体的な学びを実現できます。

【新規】 AI型ドリル導入事業

【学校教育課】

(単位：千円)

予算額	財源 内訳	国庫	県	市債	その他	市負担
19,866						19,866

【事業の概要】

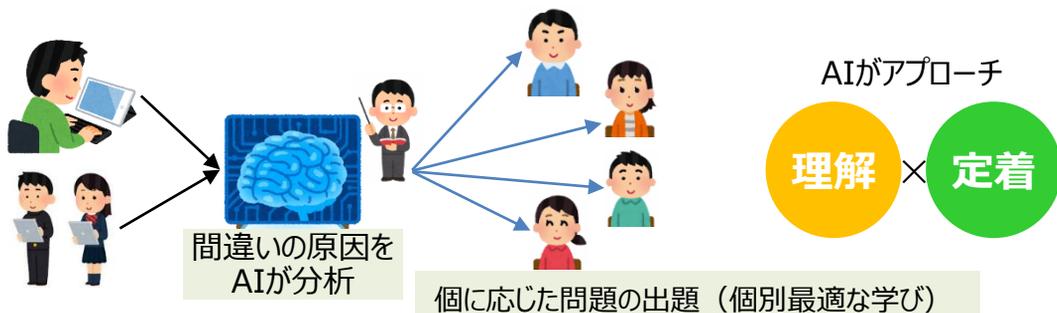
導入するAI型ドリル(Qubena(キュービナ))は、①搭載している数万問から一人ひとりに個別最適化された問題を出題することができ、②ペンを使った手書き問題の自動文字認識等により、AIがつまづきのポイントを特定し、過去の単元・前学年の分野などにも戻ることが可能です。さらに、③学習データをリアルタイムに収集・分析する学習管理ツールが備わっているアプリケーションです。

【主な事業費】

小学校 ライセンス料 6,707千円
 中学校 ライセンス料 13,159千円

【期待される効果】

- ① 学習意欲の向上
個に応じた学習を自分のペースで進められる
- ② 学力格差の解消
個別の進度に合わせた学習を行うことで、学力格差の解消が図られる
- ③ 自学自習支援
自動採点機能による効率的な学習ができる
- ④ 不登校児童生徒の学習支援
実態に合わせた学習支援ができる
- ⑤ 自ら学ぶ主体性の醸成
「教えてもらう」から「自分で学ぶ」への転換で主体性が養われる



北部小学校校舎増築事業

【教育総務課】

(単位：千円)

予算額	財源 内訳	国庫	県	市債	その他	市負担
242,478		85,151		130,700		26,627

【事業の概要】

最新の児童数の推計で、北部小学校においては児童数が増加傾向にあり、35人制学級や少人数教室、特別支援教室への対応のため、継続的な教室不足が見込まれています。また、配膳室や昇降口も手狭な状況にあるため、校舎を増築し、普通教室及び図書室、昇降口等の整備を行います。

【主な事業費】

令和5年度	新增築工事	233,928千円
	配膳室移設工事	3,800千円
	仮設通路撤去工事	3,250千円
	備品購入費	1,500千円

【期待される効果】

校舎増築を行うことで教室不足を解消し、配膳室の移設、昇降口の整備を行うことで、教育環境の向上を図ります。また、増築する校舎に図書室を配置することにより、既存校舎に多目的室を配置します。

**3月
補正**

南部小学校施設長寿命化改良事業

【教育総務課】

(単位：千円)

予算額	財源 内訳	国庫	県	市債	その他	市負担
158,400		52,433		104,800		1,167

【事業の概要】

建築から40年以上経過する南部小学校の東側校舎は、空調の整備やトイレの洋式化は実施していますが、建物本体の老朽化が進んでいる状況です。

老朽化対策として長寿命化改良事業を実施し、教育環境の向上を図ります。また、校舎の整備に併せて教室の再配置を実施します。

この長寿命化改良事業は3か年に渡る事業となり、今回は、第1期工事分の予算計上となります。

【主な事業費】

令和5年度	長寿命化工事	157,300千円
	手数料、委託料	800千円
	備品購入費	300千円

【新規】小学生ものづくり体験授業

【商工・雇用政策課】

(単位：千円)

予算額	財源 内訳	国庫	県	市債	その他	市負担
1,000		500			500	0

※地方創生推進対象事業

※ふるさとなかつ応援基金活用事業

【事業の概要】

ものづくり離れや地元離れが懸念されており、地域を担う人づくりが重要となっています。将来の中津の発展を担う人材を確保するためには、市や教育機関、商工団体、企業などが連携・協力し、中津で育った学生が地元で就職する機運を醸成していくことが必要です。

本事業は、ものづくりに携わっている市内企業や大分県立工科短期大学校などが、小学校のカリキュラムにおいて「ものづくりの楽しさ」や「企業・学校の魅力」を伝える体験授業を行うとともに、その様子や企業情報などをまとめた体験ノートを作成することで、親子でもものづくりやその企業について学ぶ機会を提供します。

【主な事業費】

(1) 体験・実験にかかる費用の補助	480千円
(2) 体験ノート作製費用	317千円
(3) 消耗品費、通信運搬費、事務費等	203千円
計	1,000千円

【期待される効果】

小学生の時からものづくりの魅力や地元企業とかかわる機会を創出することで、ものづくりや地元企業を知り、中津でものづくりに従事し、地域の発展に貢献したいと思う人材の育成を図ります。



現在、日本を含めて国際社会では環境への負荷をできる限り低減する循環型社会の形成や、脱炭素社会の実現による温室効果ガスの削減が強く求められています。

そのような中、中津市の市民一人あたりのごみ排出量は、全国や大分県の平均を上回っている状況です。

SDGsの達成に資する循環型社会の形成や、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを促進し、「環境共生都市なかつ」の実現を図るため、さらなるごみ減量・資源化を推進する施策を実施します。

【拡充】プラスチック資源化処理事業

【清掃管理課】

(単位：千円)

予算額	財源 内訳	国庫	県	市債	その他	市負担
32,670					32,670	0

【事業の概要】

令和3年7月から収集を開始した資源プラ（容器包装プラ）に加え、現在「燃やすごみ」として焼却処分されている「製品プラスチック」を分別収集し、リサイクルすることで、ごみ減量・資源化の推進、温室効果ガス削減がさらに図られることから、令和5年4月より「製品プラスチック」の分別収集を実施します。

○ <収集対象となる製品プラスチック>

プラスチック以外の金属類等が付属しておらず、プラスチックのみで製品となっている製品プラスチックが対象。

(例) ストロー・スプーン・フォーク・歯ブラシなど



× <収集対象とならない製品プラスチック>

- ・ 一辺が30cm以上のももの
- ・ 厚さ5mm以上のももの
- ・ 汚れが付着しているもの
- ・ 塩化ビニール樹脂のもの
- ・ 電池類、金属が付属しているもの
- ・ 在宅医療などで使用していたもの
- ・ 農業、漁業等で使用していたもの

収集頻度：月2～3回（「資源プラ」の収集日 ※容器包装プラと一緒に収集）

収集見込量：約900t/年（容器包装プラ 650t 製品プラ 250t）

【期待される効果】

製品プラスチックを分別収集し、リサイクルすることにより、「燃やすごみ」の減量と資源化の推進を図ることができます。また、製品プラスチックを燃やすことにより発生する温室効果ガスを削減することができ、環境負荷の低減にも繋がります。

自治体DXを進めるためには、デジタルを活用した新たな市民サービスを提供していくことと合わせて、デジタル機器を使える人と使えない人との格差を縮める「ディバイド対策」や、地域のデジタル人材育成が不可欠です。

行政と地域が一体となってデジタル化を進めることで、効率化の恩恵を幅広い方々へ浸透させていきます。

【新規】デジタル活用支援事業

【行政経営改革・デジタル推進課】

(単位：千円)

予算額	財源 内訳	国庫	県	市債	その他	市負担
84						

【事業の概要】

スマホ講座などで機器やアプリの操作方法をサポートする支援員への謝礼

【期待される効果】

高齢者などデジタル機器の操作が苦手な方々への講座等を充実させることで、デジタルディバイド（格差）を解消します。



【新規】若者の未来を創造するデジタル活用事業

【総合政策課】

(単位：千円)

予算額	財源 内訳	国庫	県	市債	その他	市負担
3,627						

【事業の概要】

不滅の福澤プロジェクトの一環として、民間企業と協働でデジタル人材の育成に取り組みます。中・高校生を対象に、3日間のカリキュラムの中で、デジタルツール等を活用した中津市のPR動画の制作や、最終日には完成した動画の発表を行います。優秀作品に選ばれた動画は市のPR等に活用します。

【主な事業費】

・ノートパソコン 3,168千円 等

【期待される効果】

中・高校生が活動の中で、楽しみながら様々なデジタルツールを活用したり、中津市の魅力を再発見したりする体験を通して、将来の自分の可能性を拡げ、世界で活躍できる人材を育成します。

中津市のマイナンバーカードの申請率は、令和4年度末には約80%に達する見込みです。

未申請者である約20%（約16,600人）の中には来庁困難な方が多くいることから、訪問型申請受付に更に力を入れて取り組むことで、マイナンバーカードの取得促進を図ります。

【拡充】マイナンバーカードの取得促進

【市民課】

(単位：千円)

予算額	財源内訳	国庫	県	市債	その他	市負担
34,720		34,520				200

【事業の概要】

①商品券の配布

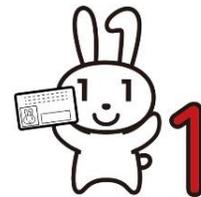
マイナポイント終了後は、マイナポイントに代わる市独自の特典として、1人につき2,000円分の商品券を配布。

②訪問型申請受付による普及促進

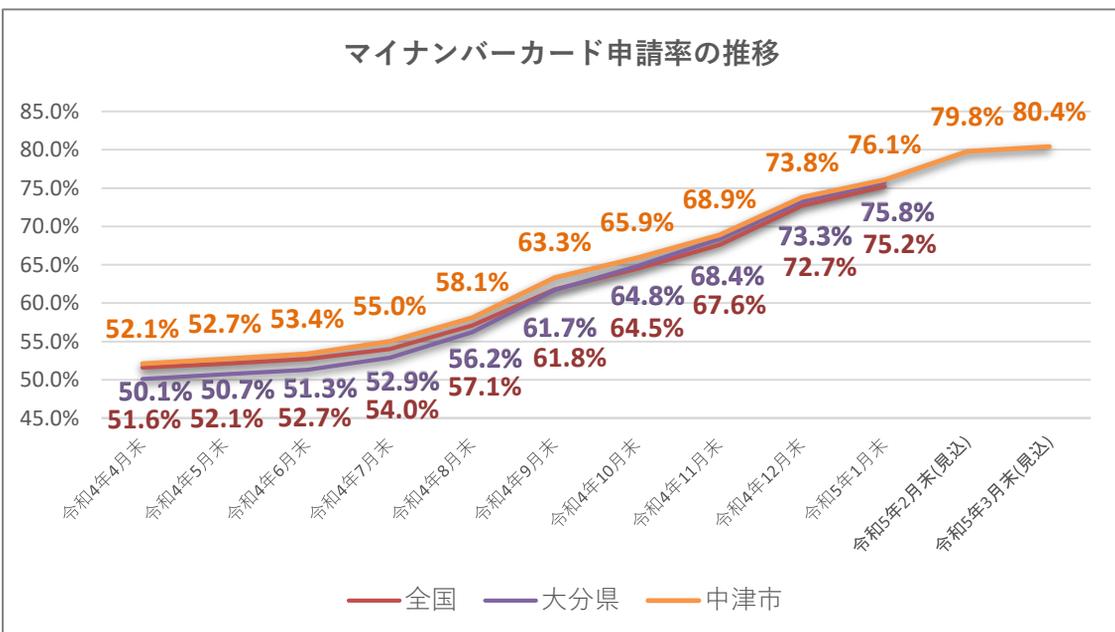
来庁申請が困難な方に対し、職員が訪問し、申請を受け付けます。
また、企業や介護施設、高等学校等、マイナンバーカードの未申請者がいると思われるところに積極的にアプローチし、取得促進を図ります。

【主な事業費】

- ・消耗品費（商品券） 33,200千円
- ・車借上料 1,320千円
- ・燃料費 200千円



マイナンバーカード申請率の推移



【物価高騰対策】

3月
補正

プレミアム商品券事業 (大分県地域消費喚起プレミアム商品券事業活用)

【商工・雇用政策課】

(単位：千円)

予算額	財源 内訳	国庫	県	市債	その他	市負担
204,000			132,000			72,000

【事業の概要】

物価が高騰する中、市民の生活及び市内事業者を支援するため、これまでの発行実績を踏まえて、第6弾プレミアム商品券を発行します。

発行に際し、商品券の購入を希望する市民等へ広く行き渡る形で行い、市民生活の支援及び地域経済の再活性化を図ります。

※発行済商品券の利用期間 令和5年4月30日（日）まで

- 事業主体 中津市
- 委託先 中津商工会議所



【第6弾 中津市プレミアム商品券】

購入対象者	大分県民
発行総額	7億8,000万円（販売総額6億円）
プレミアム率	30%
金額	1冊 500円×26枚 = 13,000円 (販売額10,000円)
内訳	全店共通券 13枚（6,500円分） 中小店専用券 13枚（6,500円分）（※）
購入限度額	一人3冊 30,000円まで
発行数	60,000冊
使用期間	令和5年6月～8月（約3ヶ月）予定

※ 中小店とは、中津市内に本店(本社)を置く事業所です。

【プレミアム商品券の発行実績】

- 第1弾 使用期間：令和2年7月15日～令和3年2月28日
発行総額：12億円
- 第2弾 使用期間：令和3年12月10日～令和4年5月1日
発行総額：8億5,000万円
- 第3弾 使用期間：令和4年5月2日～令和4年7月31日
発行総額：10億4,000万円
- 第4弾 使用期間：令和4年9月1日～令和4年12月31日
発行総額：14億1,304万円
- 第5弾 使用期間：令和4年12月16日～令和5年4月30日
発行総額：7億8,000万円

3月
補正

学校給食提供支援補助事業

【体育・給食課】

(単位：千円)

予算額	財源 内訳	国庫	県	市債	その他	市負担
18,330						18,330

【事業の概要】

コロナ禍における物価高騰を受け、学校給食に使用する食材の仕入れ価格も高騰しており、学校給食会計の運営に影響が生じています。

R5年度についても学校給食運営審議会に対し補助を行い、物価高騰による影響を給食費へ転嫁することなく、引き続き安定した学校給食を提供します。

同会計に対して、パン・牛乳・副食の物価高騰による影響額を支援することによって、質・量ともに安定した学校給食を提供します。

〈 令和元年度と比較した物価高騰による影響額 〉

「パン」・・・ 2,602千円

「牛乳」・・・ 5,994千円

「副食」・・・ 9,734千円

合計 18,330千円

